

# 平成 28 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	404 - 1	新規・継続	継続		
事務事業名	中小企業事業高度化支援事業	一般会計	7 款	1 項	2 目	40 細目	ソフト
所 属	産業部 産業振興課 新産業創出係			総合計画施策体系	4 - 4		

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	ものづくり産業の競争力強化を図るため、新製品・新技術開発や販路開拓、新分野進出等に積極的に取り組む、ものづくり中小企業を支援する。						
対象 (誰・何を対象に)	市内中小企業等						
事業の概要 及び H28活動計画	<p><b>1 ものづくり新事業展開の支援</b> 中小企業が大学等と行う共同研究に係る費用や見本市等への出展する際の費用、マーケティング調査等に係る費用のほか、知的財産権の取得に係る費用の一部を補助する。 補助率:産学共同研究支援は2/3以内(上限:2,000千円)、見本市等出展支援は1/2以内(上限:国内の見本市 200千円、国外の見本市 350千円)、マーケティング調査支援は1/2以内(上限:200千円)、知的財産権取得支援は1/2以内(上限:100千円) ※本事業は、平成27年度補正予算(9,950千円)により実施する。</p> <p><b>2 環境関連製品・技術等開発の促進(12,000千円)</b> 中小企業の成長産業への進出を促進するため、環境関連や医療・福祉分野の研究開発に係る費用の一部を補助する。 補助率:2/3以内(企業グループは3/4以内)(上限:3,000千円(企業グループは5,000千円))</p> <p><b>3 ものづくり優良企業の表彰(151千円)</b> ものづくり中小企業の意欲向上と他企業への波及を図るため、革新的な技術や独創的な発想を活かした事業の展開及び生産管理の改善等により、成果を挙げている企業を表彰する。</p> <p><b>【新】4 食品加工産業の育成支援(1,000千円)</b> 農林水産物等を活用した食品加工に係る新規事業の創出と地域産業の活性化を図るため、食品加工関連事業者等が行う新製品開発に係る費用の一部を補助する。 補助率:1/2以内(上限:200千円)</p> <p><b>【新】5 クラウドファンディングの普及啓発促進(1,714千円)</b> 有望なプロジェクトを有する中小企業等の発掘及び地域資源の活用を図るため、クラウドファンディングの活用に向けた普及啓発やファンド組成のサポートを行う。</p> <p><b>【新】6 3Dプリンタ研究会事業(1,073千円)</b> 中小企業等の事業高度化やものづくり人材の育成を支援するため、大学、企業及び産業支援機関等と連携し、産業界においてニーズが高い三次元積層造形技術(3D プリンタ)の専門知識、技術の開発動向や先進的な取り組み、利用方法等について、情報収集を行う。</p>						
活動・結果 指 標	<b>【活動・結果指標名】</b>	単位	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)		
	研究開発に係る補助金の交付件数	件	7	7	10		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	研究開発に係る補助の目的は、研究成果が新技術・新製品開発に至り、最終的に企業の収益向上に繋がることであるが、それまでにはある程度の期間を要するため、その過程において、第一段階となる商品化への到達件数を成果指標として設定している。						
成果指標 (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	単位	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	商品化への到達件数(累計)	件	16	17	18		

## 3 コスト情報

		26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(予算)	29年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	12,439 千円	1,163 千円	15,938 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	7,893 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	12,439 千円	1,163 千円	8,045 千円	千円

# 平成 28 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	404 - 2	新規・継続	継続
事務事業名	ベンチャー企業育成事業	一般会計	7 款 1 項 2 目 45 細目	ソフト
所 属	産業部 産業振興課 新産業創出係			総合計画施策体系 4 - 4

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	新たな事業分野の創出を促進し、本市経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、ベンチャー企業等の立ち上げを支援する。								
対象 (誰・何を対象に)	市内中小企業、創業予定者等								
事業の概要 及び H28活動計画	<p><b>1 研究開発支援施設活用推進(3,961千円)</b>                  中小企業・ベンチャー企業の研究開発を促進するため、研究開発支援施設(株式会社広島テクノプラザ、広島起業化センター「クリエイトコア」、テクノフロンティア東広島)に入居している中小企業・ベンチャー企業に対し、賃借料・機器使用料の一部を補助する。                  補助率: 賃借料の1/3以内(創業から10年未満の企業、環境関連や医療・福祉分野の研究開発を行う企業は1/2以内)、機器使用料の1/2以内(上限:100千円)</p> <p><b>2 ひがしひろしま創業塾(1,138千円)</b>                  創業段階に必要な基礎知識を習得するための講座を広島大学産学・地域連携センター等と共同で開催する。(年2回)</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <p><b>【新】3 創業支援(2,500千円)</b>                  本市に根付く創業者の発掘及び地域産業の活性化を図るため、本市内で創業する者に対し、出店に係る賃料及び販路拡大のための広告宣伝費の一部を補助する。                  補助率: 1/2以内(上限:500千円)</p> <p><b>4 東広島市新産業創造センター管理運営(7,860千円)</b>                  新規産業の創出を促進し、地域の活性化を図るため、産学金官連携による地域の中小企業・ベンチャー企業の多様な活動拠点となる、サンスクエア東広島内に設置した当該センターの管理運営を行う。                  ア 設置:平成15年1月                  イ 主要施設:セミナー室、貸事務所及び交流フロア(ビジネス情報探索コーナー)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">                       セミナー室                 </div> <div style="text-align: center;">                       貸事務所                 </div> <div style="text-align: center;">                       交流フロア                 </div> </div>								
活動・結果 指 標	<b>【活動・結果指標名】</b>	単位	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)				
	ひがしひろしま創業塾受講者数	人	32	80	70				
	セミナー室の利用件数	件	438	400	400				
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	当該講座が創業に直接的に貢献したものを判断するため、ひがしひろしま創業塾修了者(全講座のうち7割以上に出席した者に対し修了証を交付)のうち、その後、市に創業した旨の報告のあった件数を成果指標として設定している。								
成果指標 (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	単位	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	28年度 (目標値)	28年度 (実績値)	達成率	29年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	ひがしひろしま創業塾修了者の創業件数(累計)	件	31	38	34				

## 3 コスト情報

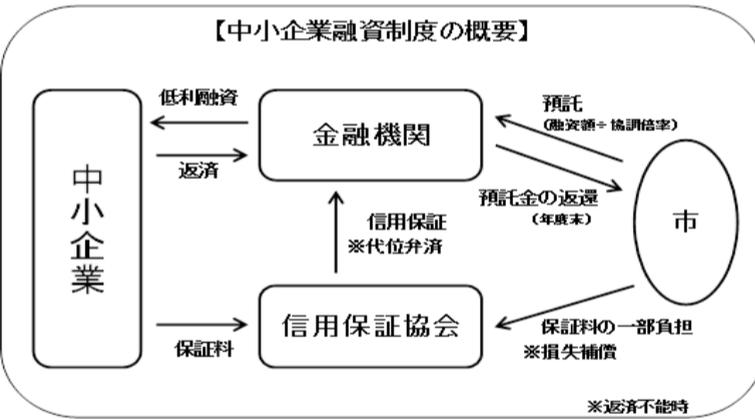
		26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(予算)	29年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	12,229 千円	16,774 千円	15,480 千円	千円
	財源内訳	千円	千円	1,828 千円	千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	734 千円	730 千円	730 千円	千円
	その他	11,495 千円	16,044 千円	12,922 千円	千円

# 平成 28 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	404 - 3	新規・継続	継続
事務事業名	中小企業融資対策事業	一般会計	7 款 1 項 2 目 32 細目	ソフト
所 属	産業部 商業観光課 商業振興係	総合計画施策体系 4 - 4		

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市内中小企業者に必要な資金の低利融資を推進し、中小企業者の経営基盤の確立と経営の安定化を支援する。								
対象 (誰・何を対象に)	市内の中小企業者								
事業の概要 及び H28活動計画	<p>1 中小企業融資預託(1,150,000千円) 市内金融機関に対し貸付原資の一部を預託し、その原資に金融機関の資金を加えて融資枠を設け、融資条件の範囲内で金融機関が市に代わって中小企業者に低利の融資を実施する。 ・一般融資 1,100,000,000円(3倍協調) ・特別融資 50,000,000円(2倍協調)</p> <p>2 広島県信用保証協会負担金(4,800千円) 中小企業者の負担軽減を図り、中小企業融資を円滑に実施するため、中小企業者が融資を受ける際に広島県信用保証協会に支払う保証金の一部(20%)を市が負担する。</p> <p>3 広島県信用保証協会損失補償金(2,000千円) 中小企業者の信用力・担保力を補完し中小企業融資の円滑化を図るため、広島県信用保証協会と損失補償契約を締結し、融資を受けた事業者が返済不能となり代位弁済が行われた場合、当契約に基づき一定の割合で一部負担を行う。</p> <p>4 中小企業信用保険法認定業務 中小企業信用保険法に基づき、業況の悪化している特定業種の中小企業者が、資金供給の円滑化を図るために設けられた信用保証の特例措置(セーフティネット保証)の適用を受けるための認定を行う。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>【中小企業融資制度の概要】</p> <p>この図は、中小企業、金融機関、信用保証協会、市との関係を示しています。中小企業は金融機関から低利融資を受け、返済を行います。金融機関は市に預託(融資額+協調倍率)を行い、市は預託金の返還(年末)を行います。信用保証協会は金融機関から信用保証(※代位弁済)を受け、市から保証料の一部負担(※損失補償)を受けます。また、中小企業は信用保証協会に保証料を支払います。※返済不能時</p> </div>								
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)				
	中小企業融資新規貸出件数	件	343	—	—				
	セーフティネット保証認定件数	件	13	—	—				
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	景気動向、経済情勢等に深く関係しているため、成果を数値目標によって設定することは困難であるが、新規貸出件数実績はおおむね堅調に推移している。								
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	28年度 (目標値)	28年度 (実績値)	達成率	29年度 (目標値)	一年度 (目標値)

## 3 コスト情報

		26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(予算)	29年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	1,358,647 千円	1,256,378 千円	1,156,891 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	1,350,000 千円	1,250,000 千円	1,150,000 千円	千円
	一般財源	8,647 千円	6,378 千円	6,891 千円	千円